

阿南市には「劇団夢創」があります

劇団夢創 団長 片山 ゆう子

劇団誕生

劇団夢創は、1999年に阿南市文化会館夢ホールの落成記念事業公演ミュージカル「シンデレラ」から始まりました。それから10年間は阿南市の文化事業の一環として毎年定期公演を行い、2009年から市民劇団として阿南の地から文化の灯を絶やさないようにとの思いで活動を続けています。2019年には多くの卒団生も参加した20周年劇団設立記念公演を行い、現代社会の問題、認知症をテーマにした「メモリー」を上演することができました。

劇団の軌跡

今年で24年目、今までに22演目、それぞれの公演にはたくさんの方々関わってください、たくさんのおメッセージを夢ホールのステージから発信することができました。

その中には、国民文化祭参加作品「踊る阿呆の狸合戦」、東日本大震災のあった2011年3・11の夏には、私たちの仲間気仙沼「うを座」

とのチャリティー合同公演「夢つむぎの詩2011」、そして、2014年、2015年と2年続けて阿南市内小中学生の観劇対象作品として「新開桜」、太龍寺への遍路道かも道をテーマにした「いけるいけるドン トウオーリー・ビー・ハッピー」、お松大権現の歴史を扱った「猫たちの綴るお松権現」など、忘れられない作品は数多く、私たちは、そのすべての公演を通し、たくさんのお客様の皆さまと感動を共有できたことを、深く感謝いたしております。

劇団設立25周年に向けて

劇団は、来年度25周年を迎えます。同じく25年歩んできた夢ホールさんと共に25周年記念公演に向けて全力で取り組む所存でございます。

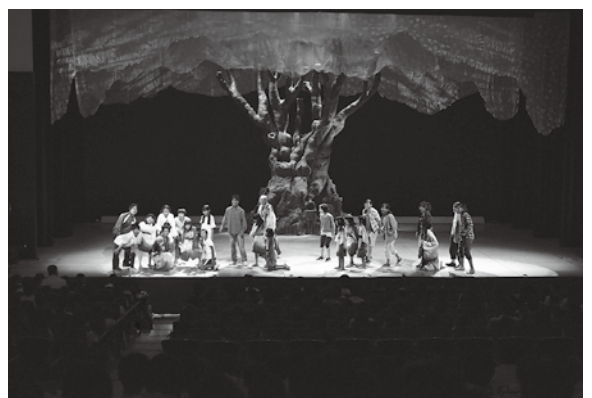
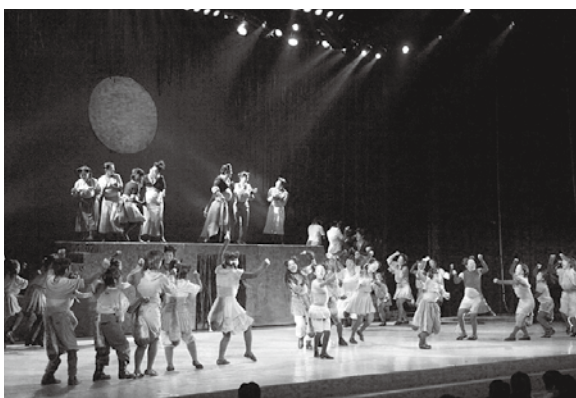
その取組の第1弾として、来年1月には25周年記念公演のためのワークショップを演出家・遠藤吉博さん（大野町出身、東京在住）をはじめ、作曲家・玉麻尚一さん、歌唱指導・米田佳子さん、振付師・兵頭裕香さんを講師としてお招きし、2日間開

催する予定です。

演劇のメソッドで体感するコミュニケーションと表現力を磨く、普段の生活では味わえない新しい自分発見の機会になることと思います。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。また常時、劇団員（小学生〜大人）も募集しています。

最後に夢創は、微力ではございますが、今後も阿南市における芸術発展のお手伝いとして活動を続けてまいります。よろしくお願いいたします。「劇団夢創」よろしくお願ひ申し上げます。

▼お気軽にお問い合わせください。
☎090-8287-8823（片山）



あなん文化紀行は偶数月号に掲載します。

問い合わせ

文化振興課

☎22-11798